

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020150

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A	
単位施策	5 生涯教育施設・備品の有効活用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	スポーツセンター整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	施設整備	関係課	#N/A	
事業目標	備品整備、アンケート実施・集計、整備の方向性検討、方向性決定	ハード／ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	体育施設アンケート実施・集計 スポーツセンター整備の方向性検討・決定 スポーツセンター設備整備 1 アリーナカーテン取替 2 備品整備 ・卓球台 ・各種目ボール ・雪合戦用ヘルメット ・レクリエーション用品 ・スポーツタイマー ・スチームクリーナー	体育施設アンケート実施・集計 アリーナカーテン取替 備品整備 ・卓球台 ・各種目ボール ・雪合戦用ヘルメット ・レクリエーション用品 ・スポーツタイマー ・スチームクリーナー	スポーツセンター整備の方向性 検討	スポーツセンター整備に関する 調査・研究	スポーツセンター整備に関する アンケート実施・集計	スポーツセンター整備に関する アンケート集計・方向性検討	
	事業費(千円)	3,115	3,000	0	0	115	0
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,115	3,000			115		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,358	2,358	0	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,358	2,358	0	0	0		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 体育施設アンケート実施・集計 アリーナカーテン取替 備品整備 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) アンケート集計・方向性検討 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 調査・研究 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) アンケート未実施 ※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	備品整備、アンケート実施・集計	方向性検討	方向性検討・決定		
		年度達成率	79%	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	76%	76%	76%	76%	76%
	備考欄						

事業名	スポーツセンター整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	齋藤 康 志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	アンケート実施・集計	
【抱える課題やニーズは】	スポーツセンター利用者の減少及び施設設備の老朽化。	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民のスポーツ活動の実態に沿った設備等の計画立案。	① アンケート実施・集計	目 標 年 度	平成28 年度
			目 標 値	1 式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	全町民が主体的にスポーツに親しみ、継続してスポーツ活動を実践することで、町民の心身の健康及び活力ある地域づくりを図る。	②	実 績 値	0 式
			達 成 度	0.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	アンケート実施・集計	目 標 年 度	平成28 年度	
	スポーツセンターに関する町民アンケートについては、熟考の結果、過去のアンケート結果からの見取り及び施設現状から今後の方向性をまとめる。	目 標 値		
		実 績 値		
		達 成 度	#DIV/0! %	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の心身の健康づくりを推進し、活力ある地域づくりを図るためには、町民のニーズに沿った施設整備を行うとともに、施設の利便性や安全性の向上を目指す必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	現状として、施設の老朽化などによる施設設備の修繕対応が顕著であることから、既存施設の有効活用も含めた体育施設のあるべき方向性について調査・研究する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

課題あり	判断の理由	スポーツセンターに関する町民アンケートの実施により、具体的な方向性を決定する予定であったが、実施には至らなかった。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 人員削減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	すべての町民が使用対象である体育施設に係る調査・研究であり、公平性は保たれていると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C	C	
スポーツセンターに関するアンケートを行うことにより、今後の方向性を決定する予定であったが、実施に至らなかった。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更
前回実施した体育施設アンケート結果を基に、実際に施設を利用している団体等の意見を聴取するなど、町民のニーズを把握した上で、教育委員会の考え方をまとめる。	同左

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止